

## 平成27年度第1回統計委員会 議事概要

日時：平成27年7月29日（水）14:00～16:00

場所：兵庫県民会館3F304号室

### 開会

- 委員総数5名中5名全員の出席により、統計委員会規則第6条第2項に規定する過半数の出席を満たしているため、委員会が成立していることを報告。

### 議題1 県基幹統計調査の指定及び匿名データの作成等について

（事務局）

- 資料1に基づき、県基幹統計調査の指定及び匿名データの作成について、現在のところ該当がないことについて説明。  
→委員会了承。

<質疑応答>

（委員長）

- 平成27年度に新しく始められた調査があるが、新しく調査を始めることについては何か根拠があるのか。所管課が考えることかもしれないが、中堅・中小企業の資金調達状況に関する調査の結果は何に使うのか。

（事務局）

- 施策立案に必要となったため調査することにしたのだと思われる。この調査は制度融資に関する調査であり、調査結果を今後の施策の方向性を考える材料に使うのだと思う。

（委員）

- 市町別人口推計調査は、データをそのまま集計している調査なのか、集計後のデータをもっている調査なのか。この調査は匿名対象になるのか。

（事務局）

- 集計後のデータをもっている。人口の移動なので匿名にする意味はあまりないと思うが、今のところ特に（匿名データの作成の）要望はないためこのままとしている。要望が出たときに判断することとなるが、要望が出てくることは考えにくい。

### 議題2 県統計データ公開に関する報告について

（事務局）

- 資料2,3に基づき、統計調査結果の公表状況について説明。

<質疑応答>

（委員）

- 資料3のように変更したことについてどこかに書いてあるのか。広報はしたのか。
- 「その他の統計データ」の中に各部局の統計データが入り込んでおりわかりづらいので、第2項目のトップとするなど表示方法を工夫してもらいたい。

(事務局)

- ・ (積極的な) 広報は特にしていないので、今後取り組みたい。

(事務局)

- ・ ご提案のあった表示は、県の HP の (作成ルール上) 現時点では変更は許されていない。平成 28 年 4 月の改編で対応したい。

(委員)

- ・ 「その他の統計データ」は、県単独のものか。(データ検索する上で) 階層を上げて前面に出した方がよい。過去の統計データは掲載されているのか。

(事務局)

- ・ 過去のものはない。血液製剤使用量等調査は県独自調査である。

(委員)

- ・ 「その他の統計データ」のコンセプトは何か。その他とすると(データの内容がわかりにくい)ため) 軽い印象があるので表示方法の工夫をお願いする。

(事務局)

- ・ 統計課は基幹統計を所管しているため、それ以外のものを「その他」とした。表示方法については、広報課が作成している県HPの作成の枠組みの中で工夫したい。

### 議題3 観光統計の現状と問題点 観光見える化事業の概要

(和歌山大学観光学部 大井達雄准教授)  
(統計課 芦谷参事)

- ・ 資料 4,5 に基づき、それぞれ説明。

<質疑応答>

(委員)

- ・ 観光の範囲は何か。観光雇用とあるが、どの範囲での雇用か。

(有識者)

- ・ 観光の範囲は非常に抽象的であり、定義が困難であるのが現状である。国際観光産業分類が存在し、観光への特化度が高い部門から低い部門 (A、B、C) が存在している。例えば、宿泊産業はすべての雇用者が含まれるが、それ以外の産業においては一定の推定に基づき観光雇用に含まれることになる。

(委員)

- ・ 国際的な基準での表か。この中に農業等のツーリズムは入っているのか。

(有識者)

- ・ 世界観光機関が中心になって作成した国際的な基準の表である。標準産業分類から観光に関するものだけを抽出したと考えていただきたい。農業についてもツーリズムの関係するものは表に入っている。

(事務局)

- ・ 観光動態調査の集計で、遠方から来ている人はほぼ観光客である。地域内は観光かどうか区分が困難である。

非日常を観光として捉えるなら、新たなデータの収集が必要である。豊岡市、養父市では、観光関係者や地元住民などを対象としたワークショップを行っており、その中で検証する予定である。(調査結果が) まとまれば、機会があれば報告したい。

(委員)

- ・ Social Value (社会的価値) はデータとしてとらえにくい。

(事務局)

- ・ 現在、社会的価値について情報は少ない。(今回の観光見える化事業で実施される)

海外事例調査での知見で検証したい。

#### **議題4 その他**

##### (1) 平成26年度経済センサス基礎調査（速報）の概要

(事務局)

- ・ 資料6に基づき、事業の趣旨、速報集計結果の概要等を説明。

##### (2) 平成27年度国勢調査の特徴

(事務局)

- ・ 資料7に基づき、今回の国勢調査の特徴を説明。

#### **<質疑応答>**

(委員)

- ・ オンライン回答が増えれば県や市町の事務が軽減されるのか。人口が減っている市町は高齢化が進みオンライン回答の影響が少ないかもしれないが、今回の調査を踏まえ、次回以降に繋がるよう一層の啓蒙が必要ではないか。

(事務局)

- ・ オンライン調査は市町の一次審査の事務が軽減される。職員も削減されてきており国勢調査に多くの人員をさげなくなってきた。今回調査に携わる3万人の調査員が口コミで広めてくれるのが一番の効果があると思われるので、研修の場で調査員に伝えていく。

#### **閉会**

(委員長)

- ・ 本日の議論をまとめる。

議題1については該当なし。

議題2については、県統計データの公開についての広報が課題として残っているので事務局に検討をお願いしたい。

議題3については意見等があれば事務局までおよせください。